



美豆だより

特別号

令和2年3月吉日
京都市立美豆小学校
校長 高嶋 登



花の小さな蕾に春の訪れを感じるこの頃です。日頃は本校教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

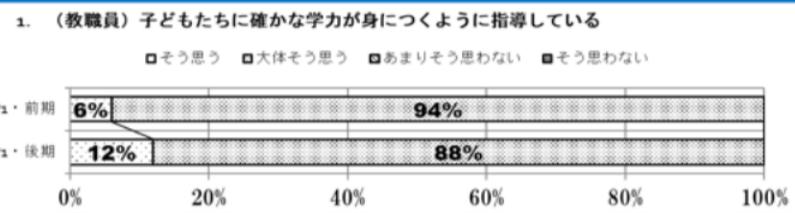
お忙しい中、先日は学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。このアンケートは、子どもたちや保護者、地域の方々の一人一人の声を大切にし、学校・保護者・地域が一体となった取り組みを進めていくために活用させていただきます。子どもたちの学校生活をよりよいものにすることをめざし、実施しています。アンケート結果や各種学校評価指標に基づく自己評価、後期学校評価をご報告します。

【回答率 保護者アンケート・75% 児童アンケート・98% 教職員アンケート・100%】

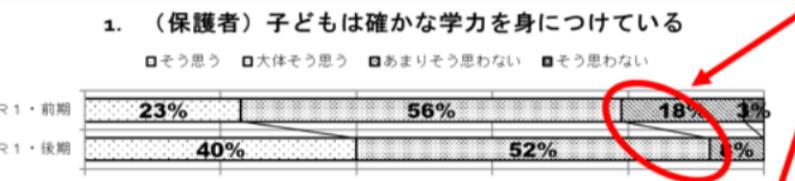


★令和元年度後期学校評価★

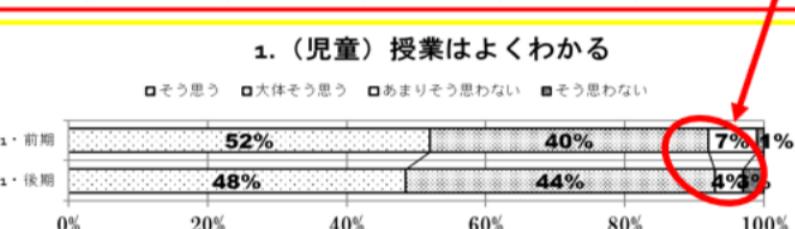
1 学力



○保護者・児童の肯定的な意見の高まりは、学校の学力向上に対する取り組みが伝わっている結果だと考える。



●年度当初に比べて、子どもの知識量(学力)が向上するのは、学んだ量と時間の経過を考えるとあり得る変化ではある。

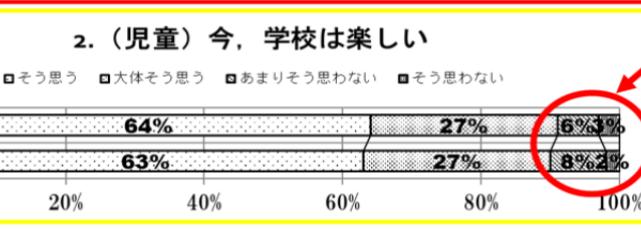
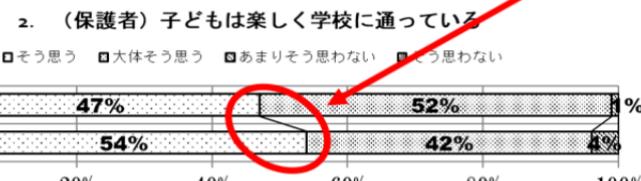
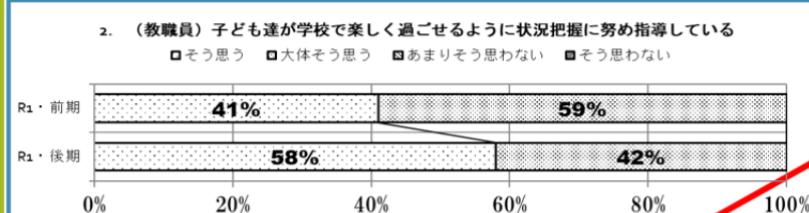


○保護者の受け止めの向上から、教職員の働きかけだけではなく、児童の様子の変化などを通して、子ども同士つながりが強くなっていることを感じてもらえていると考える。

●少数ではあるが、楽しくないと受け止めている理由を明らかにしていくことが大切。本人起因のものなのか、環境など外因によるものか。それに応じた対応が必要である。

2 楽しさ

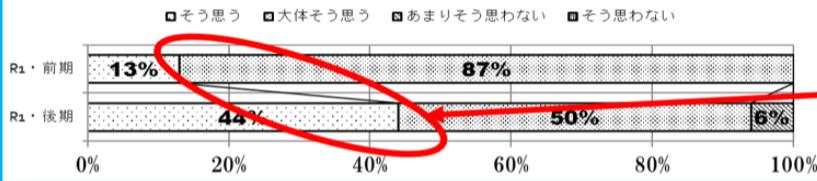
2. (教職員) 子ども達が学校で楽しく過ごせるように状況把握に努め指導している



3 学習授業

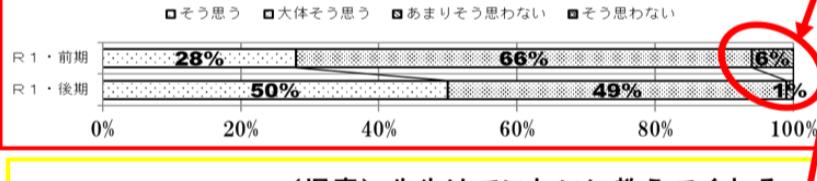
4 相談対応

3. (教職員) 教材研究に努め、わかりやすい授業を工夫している



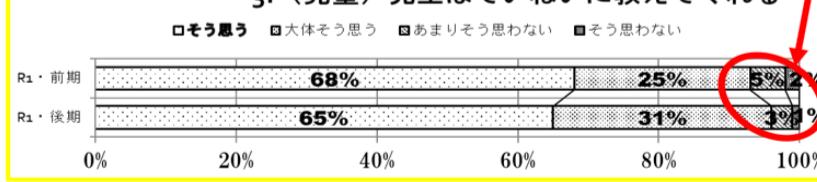
○日々行っている教材研究が、児童や保護者にも伝わり、効果を上げている。今後も継続していく。授業と家庭学習の連動を意識した授業づくりもさらに進めたい。

3. (保護者) 授業はわかりやすく工夫されている



●わかりやすい授業ということが、難易度を下げた優しい授業内容になってしまふことがないように、意識していくことも大切。

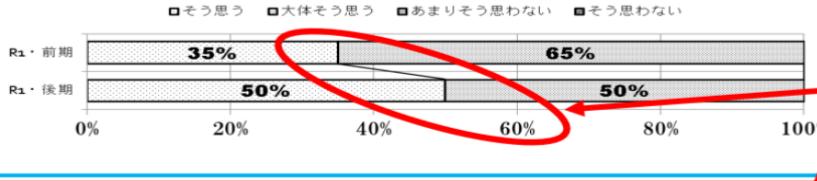
3. (児童) 先生はていねいに教えてくれる



○教職員の取組に対する意識の向上が、保護者にもご理解いただけたと思われる項目。今後も人権に対する指導を大切にしたい。

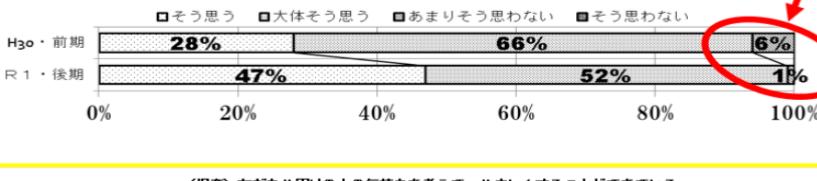
5 思いややく人権

5. (教職員) 子どもたちに人権を大切にする態度が身につくように指導している

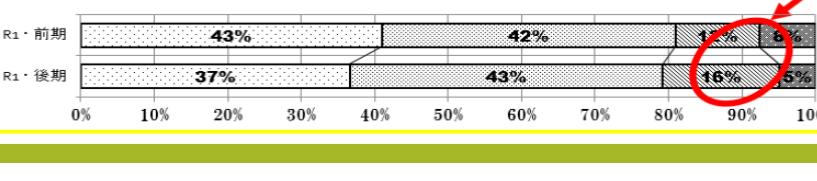


●児童の肯定的意見は下がっている。思春期に差し掛かり、友達とのかかわりに悩んでいる様子も見られた。その中で、自他ともに大切にするかかわり方を今後も寄り添いながら指導していかたい。

5. (保護者) 学校は人権を大切にした学級つくりをすすめている



5. (児童) 友だちや周りの人気持ちは考えて、やさしくすることができている

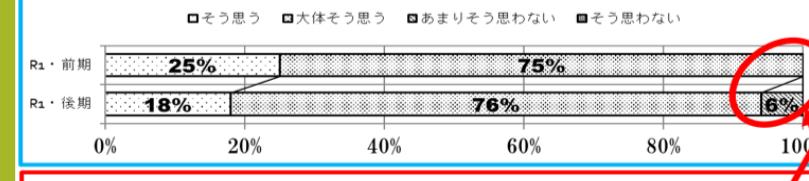


○保護者の肯定的な意見が大きく上昇した。学校への信頼感の高まりと受け止めている。そこに安堵することなく、引き続き児童とゆっくり話せるような時間をもっていきたい。

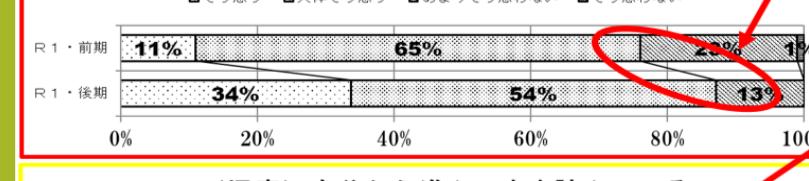
●児童の肯定的意見が下がっている原因を考える必要がある。思春期等の背景も考えられるが、いずれにしても子どもに寄り添う意識を高めていきたい。

6 読書

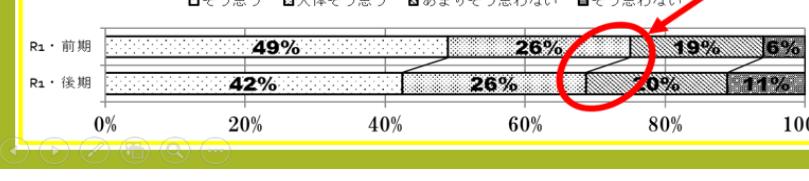
6. (教職員) 子どもたちが進んで本を読むように取組を進めている



6. (保護者) 学校は、子どもが家庭で進んで本を読むように働きかけている



6. (児童) 自分から進んで本を読んでいる



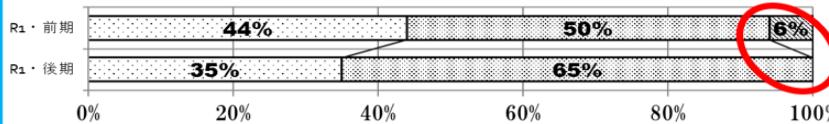
○保護者の肯定的な意見が大きく上昇した。今後も家庭との連携を強め、読書を推進していきたい。

●教職員・児童の意識の低下が見られた。図書司書や図書ボランティアさんの取組など、読書環境の整備は継続的に取り組んでいるものの、後期は行事等の取組が多くあり、授業・休み時間等を含めて、図書館で本を読むという時間の設定が難しかったことは否めない。

7 宿題

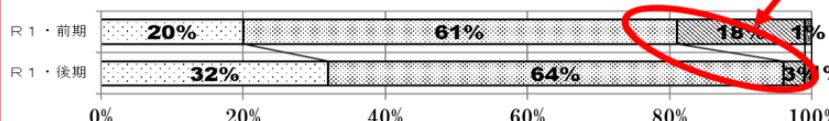
7. (教職員) 子どもたちにあった課題を与え、家庭学習の定着を図る取組を進めている

□そう思う □大体そう思う □あまりそう思わない □そう思わない



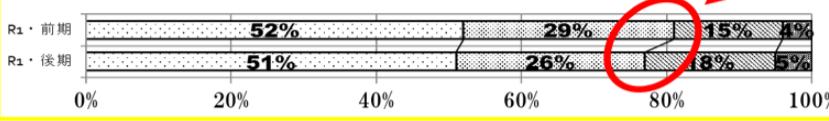
7. (保護者) 学校は子どもが家庭で学習に取り組めるよう働きかけをしている

□そう思う □大体そう思う □あまりそう思わない □そう思わない



7.(児童) 家で宿題など進んで学習している

□そう思う □大体そう思う □あまりそう思わない □そう思わない



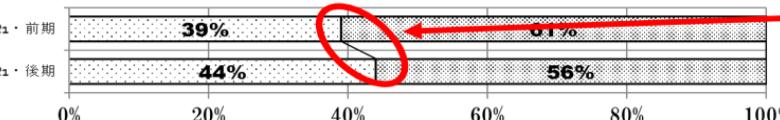
○教職員は、本校が取り組んでいる【授業と家庭学習の連動】をより意識した取組を続け、家庭との連携も強めていった結果、肯定的な意見が向上したと考える。

●児童の家庭学習の内容・実態をより詳細に把握し、家庭学習の必然性を感じさせることも大切だと考える。

8 規則

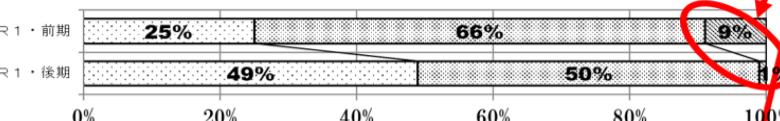
8. (教職員) 子どもたちに学校・学級のルールや時間を守って生活できるように指導している

□そう思う □大体そう思う □あまりそう思わない □そう思わない



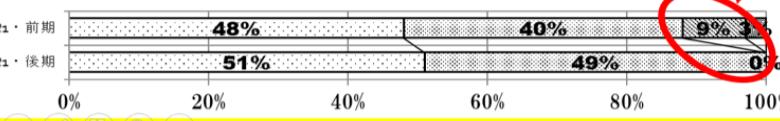
8. (保護者) 学校は子どもに学校の決まりや社会的なルール・マナーを守るように働きかけている

□そう思う □大体そう思う □あまりそう思わない □そう思わない



8.(児童) 学校や学級のルールを守っている

□そう思う □大体そう思う □あまりそう思わない □そう思わない



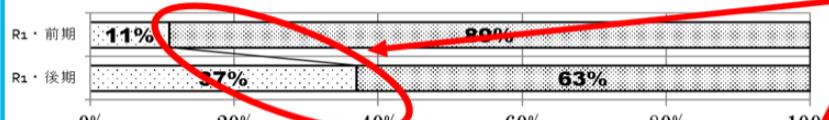
○教職員・保護者
・児童の3者ともに肯定的意見が上がっている項目。高学年を中心的に、お手本となる姿が多くみられるようになった結果とらえている。

●日常生活の中にある、友達との約束や遊びのルールなど、小さなルールは守り切れずにトラブルになることがあるが、一つずつ解決していく支援を続けていく。

9 挨拶

9. (教職員) あいさつすることの大切さを指導し実践できるよう取り組んでいる

□そう思う □大体そう思う □あまりそう思わない □そう思わない



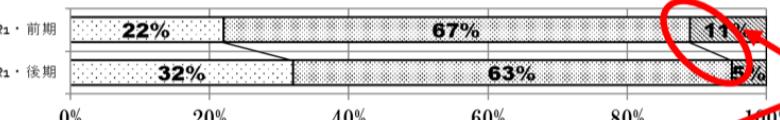
○PTA・地域・学校などが取り組んでいるあいさつ運動等の効果が表れていると考える。今後も継続していきたい取組である。

●自らあいさつをしようと思えるような心情を育てていくことが、今後の課題と受け止めている。

10 生活習慣

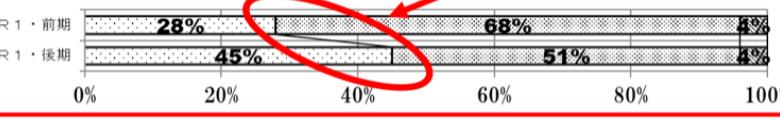
10. (教職員) 子どもたちに規則正しい生活習慣が身につくように取組を進めている

□そう思う □大体そう思う □あまりそう思わない □そう思わない



10. (保護者) 学校は「早寝・早起き・朝ごはん」など規則正しい生活ができるように働きかけている

□そう思う □大体そう思う □あまりそう思わない □そう思わない



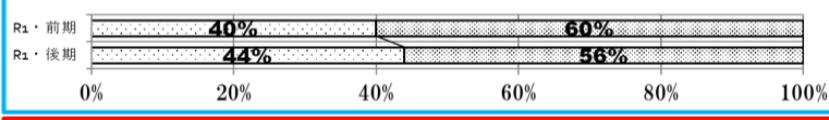
○長期休業明けの生活チェックの取組は、教職員からの声かなり、保護者・児童も意識が強まる感じている。大人からの働きかけは、今後も意識して継続していきたい。

●児童の数値については、肯定的意見も否定的意見も、ほぼ前期と変化がない。おそらく、十分に分かっているが改善できないことが要因があるように感じる。大人からの働きかけを大切にしたい。

11 家庭連携

11. (教職員) 学習予定表や学級通信などで、学級や子どもの様子を分かりやすく伝えている

□そう思う □大体そう思う □あまりそう思わない □そう思わない



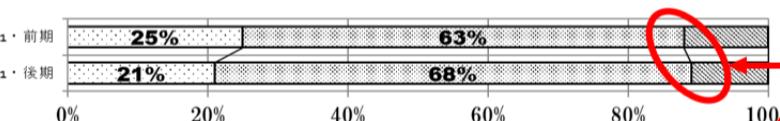
○学校だより・学級だより・ホームページ等、学校の様子が伝わりやすいうように工夫してきたことが、肯定的意見の向上に繋がっていると考える。今後も継続していきたい。

●家庭内で、児童との会話の糸口になるような、話題提供にもなるお便りつくりも心掛けていきたい。

12 将来展望

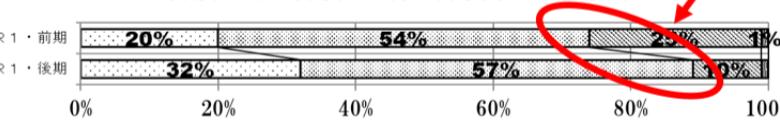
12. (教職員) 将来展望がもてるような支援や取組を進めている

□そう思う □大体そう思う □あまりそう思わない □そう思わない



12. (保護者) 学校は、子どもが将来の夢や希望をもてるような取組をしている

□そう思う □大体そう思う □あまりそう思わない □そう思わない



○教職員や保護者の肯定的な意見の向上が見られた。大人のちょっとした言葉かけで児童の意識・意欲は大きく変わると考える。今後も児童のより良いところに目を向けて言葉かけを意識していきたい。

●児童の自尊心・自己肯定感が高まるような取組や言葉かけを細やかに行っていくことで、児童の意識を高めていきたい。

今後も、学校・地域・保護者の連携のもと、粘り強く取組を進めています。

